

全国B.M.C.(全国宴会支配人協議会)からの月1回の通信です。

## 内容:

・ウェディング業界の裏事情???

・HRSnews より

・ぼっけええで倉敷!

中国 B.M.C.

編集後記

## ウェディング業界の裏事情???

先日、中居正広のミになる図書館「ウェディング業界 お金のカラクリ禁断の裏情報/知らないで大損!?現役のプロも大暴露」というバラエティー番組が放映されました。

・相談カウンターで受付すると客の身なりをウェディングプランナーに報告!?

足元を見るということらしい。また料理の写真の撮り方で高い料理を選ばせるようにしているらしい。

・人気のない月の仏滅は10万円近く安くなることも!?

もともとウェディング業界は値段があつてないようなものとのこと。しかし、仏滅でも三

連休の中日は人気がありますよね。

・レンタル料40万円のウェディングが1万円で買える!

3回貸したら元をとれる。

ぼったくりってこと?

これは衣装屋にしかわからない。

・結婚式を挙げた5割の人が後悔!

40万払ったカメラマンがアルバイト!?

心配なら持ち込み料を払ってでも自分で選ぶべき。

・トラブル続きで半額返金!プランナーが本番4日前に失踪!?

本当の話でしょうか?

テレ朝ですからね…。

概ね以上のような内容でした。身に覚えがありますか?ないでしょうか。しかし、これがイメージなのです。バラエティーだからと言って馬鹿にしているはいけません。視聴者はこれが真実だと思いついて入っています。これから結婚式をあげようと思っていた人で、この番組を見てやめようと思った人もいます。

番組を批判するのではなく、結婚式はこんなに素晴らしいものだというような取材を受けられるよう努力しなければいけません。

以上

全国BMC

会長 伊藤 保

## HRSnews より「企画委員会」がスタートしました」

このたび、HRSの新しい委員会として「企画委員会」が発足しました。企画委員会としての役割は(1)新たな事業の研究開発(2)会員の交流と研鑽の支援活動が主たる活動となります。HRSは本年4月、それまでの公益法人(特例民法法人)から一般社団法人としてリスタートし、収益事業への取り組みもできるようになりました。しかしながら具体的にどのような事業活動を組み立て、実践していくことが会員の皆さんにとって喜ばれ、同時に協会の収益にも貢献できる事業となり得るかは、まだ手探り状態であり難しい課題でもあります。こ

数年の会員減少傾向から、会員のための事業推進活性化は喫緊の課題でもあり、またひっ迫している協会財務の状況を考えますと、収益貢献に結びつく事業の開発も急がなければなりません。

2020年東京で開催予定のオリンピック・パラリンピックに向け、また観光立国としての国策からも、日本を訪れる海外旅行者数は大きく伸びております。料飲業界に対する期待の高まりとともに接遇サービスの質の向上も求められており、業界各社における教育ニーズも高まっております。HRSとしては、当協会

が持つ「人財」という最大の資産を活用し、これらのニーズに応える教育プログラムも急ぎ組み立てていかなければならないと考えております。現在総務委員会が中心となって進めております「会員増強運動」の中でも、新規入会の法人会員に対し「Welcome 研修」として接遇サービスの基本研修を無料で提供するキャンペーンが組み込まれておりますが、この研修プログラムも企画委員会として最初の活動取り組みとなります。(後略)

## ぼっけええで倉敷！

倉敷は、倉敷川沿いに建ち並ぶ白壁の町並みや日本最初の私立西洋近代美術館・大原美術館のある、「倉敷美観地区」のをはじめ、本年指定80周年を迎えた、日本で最初の国立公園の一つである瀬戸内海国立公園内の代表的景勝地「鷺羽山」や道路・鉄道併用橋として世界最長を誇る「瀬戸大橋」などを有し、また「国産ジーンズ発祥の地として」も有名な「児島地区」など県内屈指の観光地があります。さらに、良寛和尚ゆかりの禅寺「円

通寺」で有名な「玉島地区」や最先端の産業技術が集積する産業観光の拠点水島コンビナートを有する「水島地区」、奈良時代の大学者吉備真備公を顕彰した「まきび公園」や特産のタケノコで有名な「真備地区」、果物の女王「マスカット・オブ・アレキサンドリア」を原料としたワイン作りを行っている「ふなおワイナリー」やスイートピーの産地としても有名な「船穂地区」など、市内各地に多種多様な観光資源があります。

平成25年に本市へ訪れ

た観光客数は、美観地区341万人。鷺羽山182万人。由加山38万人。円通寺など玉島周辺8万人で、美観地区では前年比0.9%減となったものの市全体としては632万8千人となり昨年(624万4千人)を1.3%上回る数字となりました。

白壁の美しい町並み、倉敷美観地区

白壁の町、文化の町として有名な倉敷は、江戸時代、天領として栄えた商人の町でもありました。その中でも美観地区、本町・東町の町

### 全国 B.M.C.

2013-2014 年度会長

ホテルグランヴィア京都  
伊藤 保

〒600-8216  
京都市下京区烏丸通  
塩小路下る東塩小路町 901  
京都駅ビル内

[TEL:075-344-8888](tel:075-344-8888)

FAX:075-344-4400

E-MAIL:  
[ito@granvia-kyoto.co.jp](mailto:ito@granvia-kyoto.co.jp)

Web サイト

URL:  
<http://www.e-bmc.com/>

並みは、古き情緒を今も色濃く受け継いでいます。白壁の屋敷、建築様式に息づく江戸の風情、倉敷川沿いの柳並木、そんな倉敷の象徴的な風景は、いつの季節もそぞろ歩きがよく似合います。「ひやさい」と呼ばれる裏路地に数多く点在する隠れた名店、そんな自分だけの「倉敷」を探しに出かけるのもまた一興。何度訪れても新しい発見がある、いろいろな顔を持つ魅力ある町。それが倉敷です。そして、初めて倉敷を訪れるなら、まずは

「大原美術館」へ。日本初めて誕生した私立西洋近代美術館には、世界的に有名な名画がずらり。陶芸・木版画・染物・東洋の古代美術館も展示しており、手軽に倉敷の歴史・文化を触れることができます。他にも倉敷エリアには、旧石器時代の生活道具などを展示する「倉敷考古館」、世界中の民芸品を集めた「倉敷民藝館」など、文化施設が充実しています。また、旧倉敷紡績倉敷工場を再開発した「倉敷アイビースクエア」では、陶芸教

室など体験型の施設があり、子供から大人まで楽しめます。江戸から守り受け継がれる美術・文化にふれ、散策するのもいいかもしれません。

そんな倉敷に是非、いっぺんきて～ヨ

中国 B.M.C. 会長  
藤原 浩二

### 編集後記

秋の行楽シーズンがやってきました。旅の楽しみ方は人それぞれで、「旅の手帖」なるものを持ち歩くゲストが増えてきました。

朱印帳のようなもので、ホテルが一言や一句を添えて記念スタンプを押します。よく考えてみると、違うものを集めたいと思うのが人の心理なので、同じところには二度泊まらないのではと考えてしまいます。

そこで、4つ揃って初めて完成するようなサインを

用意しようかと考えています。

みなさんも私がデューティーマネージャーの時に「旅の手帖」を持って泊まりにきてください。

私は京都に帰ってきてから、休日には朱印帳を持参して社寺仏閣を巡っています。

今、最後の頁はどこにするかを考えています。それまでは長生きしなければいけないという訳です。

この年になると、こう言う

趣味を持つのもいいですね。

■「いいね！」の予定  
10月・・・中国(今回掲載)  
11月・・・九州(次回掲載)  
12月・・・名古屋  
1月・・・北陸

次回九州 B.M.C. 天方会長です。九州を PR してください。